

学校教育目標「おいに学び、やさしく、まっすぐ伸びる」児童の育成

～「知・徳・体のバランスのとれた児童」の育成～



笑顔あふれる大山っ子

有田町立大山小学校

学校だより No. 7

令和6年7月22日発行

文責：校長 馬場 美奈



右上のQRコードを読み取っていただくと大山小学校ホームページからもご覧いただけます。

1学期ありがとうございました！

1学期が終わりました。1学期のお子様の様子は、いかがだったでしょうか。大きなけがや事故等もなく、全校みんな元気に過ごせたことが、何より嬉しいことです。

終業式では、1学期の行事を振り返りながら、子どもたちががんばったこと・成長したと思うことを考えてもらいました。「おいに学び」をがんばった人、「やさしく」をがんばった人、「まっすぐ伸びる」をがんばった人、それぞれ自信をもって手を挙げていたり、自信なげに手を挙げていたりしていました。「笑顔いっぱいだった人」と尋ねると、残念ながら全員とはいきませんが、多くの子どもたちが手を挙げていました。これがもっともっと増えるような学校にしていきたいと思います。

1学期子どもたちが元気に学校生活を送ることができたのは、見守り隊の方など地域の方々、そして、なにより保護者の皆様のご協力のおかげです。ご理解とご協力本当にありがとうございました。



安全に楽しく 充実した夏休みに！

楽しく充実した夏休みにするために、子どもたちへ「命を大切に」「ゲームやスマートフォン・タブレット等の使い方に注意して」ということを伝えました。

先日、学校保健会が主催する「子どもの健康とスマホ・ゲーム依存」講習会を受講しました。依存症についての専門的な治療が行われている「国立病院機構 久里浜医療センター」の先生のお話を聴くことができました。ゲーム依存やスマホ依存で苦しんでいる人が、数多く受診されるそうです。次のような、お話がありました。



○ゲーム依存は、「ゲーム行動症」という病気として認定されており、合併する問題が多く見られる。

若年者で特に問題となる行動は、家族への暴力が多い。受診患者は12歳以下の割合が増えている。

○子どもの場合は、依存症になってしまうと、**治療が困難であるため、予防が重要**である。

○使いすぎは、脳の発達を大きく阻害し、言語性の発達を遅延する。（脳の萎縮も見られる）

○SNSを通じた小学生の犯罪被害は、2023年は139件。**10年前に比べて5倍に増加**している。

○ゲーム依存やスマホ依存の度合いを測る「**スクリーニングテスト**」が久里浜医療センターHPに掲載されているので、誰でも確認することができる。

○子どもをゲーム・ネット依存にさせないための3つのポイント

①ルールを子どもと一緒に作る。

②子どもがゲームやネットでやっていることを把握しておく。

③ゲーム・ネット以外にも楽しいと思えること、自信をもってできることを作っておく。



子どもたちが、依存症以外にも、ネットトラブルの被害者にも加害者にもならないように、周囲の大人達がしっかり守っていきたいです。PTAも11月の教育講演会として、ITサポート佐賀より講師を招いての講演会を計画して下さっています。子どもたちを守る為に、大変参考になるお話が聞けるのではないかと思います。ぜひ、ご参加下さい。

お子様のゲームやスマホ、ネット等の使い方について気になる方は、ぜひ、スクリーニングテストを試してみられてはいかがでしょうか？子どもたちには、終業式の中で、「うちのひとと約束を決めて、守る」ということが大切だと話しました。約束を決めている人も多く見られましたが、無い人もいました。自由な時間が多くなる夏休みです。子どもたちを守る為にも、使い方や内容など端末の中を一度ご確認ください。



水の事故を防ぐために！ 着衣泳講習会

夏休みを前に、毎年5年生が着衣泳の講習を受けています。今年も有田消防署より4名の方に講師として来校いただき、実技を交えながらご指導いただきました。まず、慌てずに浮いた状態で助けを待つということを聞きました。次に、実際に背浮きの練習をしました。最初は、ペットボトルをお腹の上に乗せ、怖がりながら恐る恐る浮いていた子も、練習するうちに、多くの子が少しずつ上手に浮くことができるようになりました。

【自分が溺れそうになった場合】

- ・慌てず、落ち着いて**背浮きをして待つ**。（浮くものをお腹に乗せると浮きやすい）

【人が溺れそうになった場合】

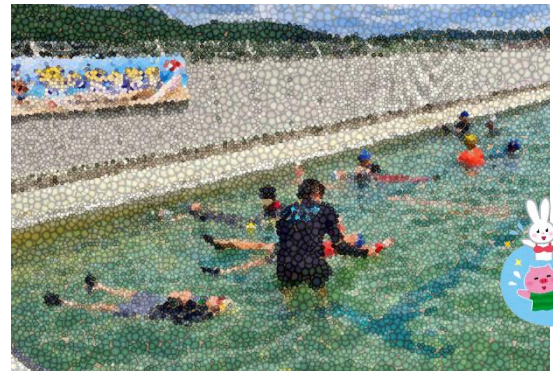
- ・絶対に**助けに行かない**。助けに行くと、溺れそうな人は、その人をつかもうとするため、助けに来た人が溺れてしまい、とても危険。
- ・溺れそうになった人がいるときは、まず、人を呼ぶ。そして靴やビニール袋、クーラーボックス等**浮き輪代わりになるものを投げて渡す**。

※**ライフジャケット**があると、とても浮きやすいので、水辺のレジャーの際には、ライフジャケットを着用しておくとも安全だということも教わりました。夏休み中に、水のレジャーの計画がある方もいらっしゃると思います。安全に気を付けて、楽しく過ごしてほしいと思います。

靴やビニール袋、クーラーボックス等、いろいろな物が浮き輪代わりになるね！



すごい!! ライフジャケットがあると、簡単に浮くことができるよ！



1人1台のクロムブック端末を使って！

4年生国語や5年生の総合的な学習で、学んだことを新聞にまとめる活動として、1人1台の端末を使って新聞づくりを行っていました。それぞれの端末から同じ紙面にアクセスし、操作しながら、同時に編集していくことができるソフトを活用しています。とても上手に使い、高いクオリティの新聞を作り上げています。5年生は、岳の棚田での田植え体験について、棚田について学んだこと等をまとめていました。4年生は、自分たちが調べたいことを考えて取材し、レイアウトや見やすさを考えながら新聞記事を作成しながら新聞を作っていました。

